

歩行者優先憲章（仮称）草稿案及び

「歩くまち・京都」総合交通戦略中間とりまとめへの意見募集結果

○ 意見募集結果の概要

- ・ 募集期間:平成 21 年 6 月 29 日(月)～7 月 28 日(火)
- ・ 募集方法:郵送, FAX, ホームページ
- ・ 意見書数: 754 通(歩行者優先憲章関係: 445 通, 総合交通戦略関係: 309 通)
- ・ 意見数:2,131 件(歩行者優先憲章関係:1,128 件, 総合交通戦略関係:1,003 件)

1 歩行者優先憲章（仮称）草稿案への意見募集結果

○ 意見の内訳

項目	件数
① 歩行者優先憲章（仮称）の名称について	214 件
② 歩行者優先憲章（仮称）の内容について	402 件
③ 「健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らし」のために、これらか自分自身で実践していこうと思うアイデアについて	327 件
④ 「歩くまち・京都」の実現に向けた「一言メッセージ」について	185 件
計	1,128 件

① 歩行者優先憲章（仮称）の名称について：214 件

分類	主なご意見	件数
賛同	・端的でわかりやすい ・クルマを 100%否定する名称は控えたほうがいい。 その意味で「歩行者優先」は良い。	30 件
改善が必要	・親しみを持てるやわらかな名称に ・「優先」という表現に違和感 ・抽象的で実感が湧かない ・京都らしさが感じられる名称に ・歩行者を“大切に”という感じを出したい	59 件
具体的名称の提案	・「歩くまち」の表現の活用について ・「歩いて楽しい」の表現の活用について ・「歩行者」の表現の活用について 他	35 件 21 件 23 件 46 件 125 件

< 具体的名称の提案 >

具体的名称の提案	件数	具体的名称の提案	件数
「歩くまち」の表現の活用		歩行者が安心まちづくり憲章	1
歩くまち京都憲章	6	歩行者プラン	1
歩くまち・京都憲章	5	歩行者憲章	1
「京都(特に歩くまち京都)」を入れる	1	歩行者最優先憲章	1
「歩くまち」を入れる	1	歩行者思いやり憲章	1
「歩くまち」等の表現を	1	歩行者優先まちづくり	1
「歩くまち・京都」を入れる	1	歩行者優先憲章	1
「歩くまち・京都」市民憲章	1	歩行者優先章典	1
「歩くまち・京都」歩行者優先憲章	1	歩行者優先推奨(推奨, 推章)	1
はんなり・ゆったり・歩くまち憲章	1	歩いて楽しい歩行者の楽園京都	1
京(みやこ)・歩くまち推進憲章	1	その他	
大好きです! 京都・歩くまち憲章	1	「京都」を入れる	2
歩くまち"きょうと"憲章	1	歩く人尊重宣言	2
歩くまち...憲章	1	「みんなが」といった視点を入れる	1
歩くまち・京都	1	「京」「京都」「歩く」というようなストレートな単語を入れては	1
歩くまち・京都 歩行者尊重憲章	1	「憲章」より「宣言」「メッセージ」など	1
歩くまち・京都=歩行者優先憲章	1	おいでとずどうじゃ、と声に知れ違う笑顔	1
歩くまち・京都安心安全・歩行者優先憲章	1	きのう 京都 憲章	1
歩くまちづくり憲章	1	ごみの少ない歩きやすい道路を目指してヒューマンロード	1
歩くまち京都・歩行者憲章	1	テクテク京都	1
歩くまち京都の掟	1	はんなり憲章	1
歩くまち京都市民憲章	1	ぶらり街歩きゆうゆう散策	1
歩くまち京都推進宣言	1	まちづくり憲章	1
歩くまち京都宣言	1	みんなの京都憲章	1
歩くまち創生憲章	1	愛てく(人や歴史や自然への人間の愛と歩く(てくてく)を合成したもの)	1
歩く町, 歩きやすい町京都	1	楽しくて歩きたくなるまちづくり憲章	1
歩く町京都の道しるべ	1	急がば廻れ・京都WALK DON'T RUN KYOTO	1
「歩いて楽しい」の表現の活用		京(みやこ)の歩くひと優先憲章	1
歩いて楽しいまち憲章	2	京あんしん道	1
歩いて楽しいまちづくり宣言	2	京都スタイル憲章	1
歩いて楽しい京都のまちづくり憲章	2	京都を歩こう	1
歩いて楽しむ古都	1	京都交通憲章	1
「歩いて楽しいまち」等の表現を	1	京都宣言	1
「歩いて楽しいまちづくり」を入れる	1	憩いやいやしの場の創造をみんなの力で	1
「歩いて楽しいまち京都」宣言	1	古都の街, そのけそのけ歩いて通る	1
歩いて楽しいまち	1	副題:「歩いて楽しい暮らしの街・京都」	1
歩いて楽しいまちづくり	1	副題: 人が主役の魅力あるまちづくりを目指して	1
歩いて楽しいまちづくり憲章	1	副題: 人を大切にすることを目指す	1
歩いて楽しいまち京都 歩行者優先憲章	1	副題: 歴史と未来をつなぐまち歩くまち京都	1
歩いて楽しいまち京都憲章	1	歩いておこしやす京都	1
歩いて楽しいまち京都歩行者憲章	1	歩いてこそ育まれる	1
歩いて楽しいまち創造憲章	1	歩いて出かけたくなる	1
歩いて楽しい憲章	1	歩くかどには福来たる	1
歩いて楽しい公共交通優先憲章	1	歩くことから考える...憲章	1
歩いて楽しい暮らし	1	歩くことが一番憲章	1
歩いて楽しむ京都憲章	1	歩くことが一番憲章	1
「歩行者」の表現の活用		歩くことが一番憲章	1
歩行者のまち京都憲章	2	歩くのが一番ですえ 京の町。	1
歩行者安心憲章	2	歩くひとと優先憲章	1
歩行者安全憲章	2	歩く楽しさと魅力を育む京都憲章	1
歩行者優先宣言	2	歩く楽しみを守る京都憲章	1
kyoto歩行者優先憲章	1	歩く人は健康の王様	1
まちの美化ならびに歩行者優先憲章	1	歩く生活優先市民憲章	1
京都・歩行者憲章	1	歩く魅力	1
京都歩行者憲章	1	歩く魅力を守る憲章	1
歩行者いつくしみ憲章	1	歩こう京都	1
		総計	125

② 内容に関するご意見：402件

内容に関するご意見		件数
表現・内容について	表現に工夫を	87
	趣旨に賛同	86
	具体化すべき	19
	高齢者・障害者等への配慮が必要	18
	主語・対象の見直し・工夫が必要	12
	実効性に疑問	7
	地域性を考慮すべき	6
	公共交通の位置づけが不十分	5
課題について	歩行者優先	30
	交通マナー	21
	自転車施策	19
	歩く楽しみ	15
	自動車抑制・規制	15
	憲章に疑問・懸念	14
	コミュニケーション	10
	景観	9
	憲章の実効性	8
	歩道の休憩スペース・施設	4
	他施策との連携	3
個別施策について	LRT導入に賛同	3
	公共交通の優位性の確立	3
	パークアンドライド・流入抑制策の必要性	3
	歩道拡幅に反対	2
	違法駐車取締強化	2
	情報提供・案内の改善	1
計		402

<表現・内容について>

● 表現に工夫を 87件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
本文に対して前文の文章量が多い。	文章は簡素で分かりやすいものが望ましいと考えます。
表現が難しい。子供からお年寄りまで誰にでも分かりやすく親しみやすい表現にすべき。	
歩くことの楽しさやメリット伝える表現を盛り込んではどうか。	前文三段落目に表現しています。
徒歩対クルマの議論にならないよう配慮が必要である。	前文二段落目に「クルマを中心とする生活」と表現することでクルマを一方向的に悪者としないう配慮しています。

● 趣旨に賛同 86件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
文化や健康など広い視点で「歩くまち・京都」の理念が述べられており、京都に相応しい内容である。	市民の皆様の賛同を活かし、憲章の周知に取り組んでいきます。

● 具体化すべき 19 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
抽象的でイメージがわからない。具体的にライフスタイルのあり方に触れてはどうか？	憲章自体は、抽象的な表現のものであり、個人それぞれが幅広く解釈できるほうがよいと考えています。憲章は、市民自らが具体的な行動・実践を起こせるよう、市民一人ひとりの、心のよりどころとなる行動規範であることをご理解いただきたいと思います。本文に込められた、実践的な行動・イメージについては、解説文の充実を図りたいと考えています。
具体的な施策や、実践しやすい行動規範を併せて示してはどうか？	

● 高齢者・障害者等への配慮が必要 18 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
高齢者や障害者も安心して歩けるまち京都のフレーズを盛り込んでほしい。	前文三段落目に「また時にひとの助けを借りながら」という文言で表現しています。

● 主語・対象の見直し・工夫が必要 12 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
自らのこととして考えられる内容とすべき。	本文一行目で「わたしたちの京都」を主語として、自らの憲章としています。
事業者や観光客の役割も明記すべき。	憲章自体は、抽象的な表現のものであり、具体的な内容については解説文の充実を図りたいと考えています。

● 実効性に疑問 7 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
実効性をいかに確保していくかが問題。継続して取り組む必要がある。	モビリティ・マネジメント施策等のコミュニケーションを通じて継続的に市民意識に働きかけていきます。

● 地域性を考慮すべき 6 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
都心部だけでなく周辺の地域もイメージできる文言を盛り込むべき。	憲章は都心部だけでなく、全市的な理念を述べたものです。

● 公共交通の位置づけが不十分 5 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
公共交通に関する記述が少ない。	公共交通は歩く移動を支える交通手段として位置づけています。

<課題について>

● 歩行者優先 30 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
安全で歩きやすい環境づくりが市民意識を高めることにつながる。	「歩くまち・京都」総合交通戦略において歩行空間の充実に向けて検討しています。

● 交通マナー 21 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
自転車，クルマ，歩行者マナーについて言及すべき。	安全で快適な道路空間の確保のために交通マナーの啓発活動に取り組んでいきます

● 自転車施策 19 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
歩行者と自転車の関係が不明確ではないか。	歩行者の安全性を考慮し，自転車の適切な利用方策について検討していきます。
自転車駐輪場を設置すべき。	限られた空間で自転車を効率的に活用するために自転車のシェアリング等を検討していきます。

● 歩く楽しみ 15 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
歩く魅力を満喫できるまちを目指して欲しい。	歩く楽しさを引き出すための歩行空間の環境整備について検討していきます。

● 自動車抑制・規制 15 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
「公共交通」を利用してマイカー利用を控えようと思える内容にすべき。	憲章自体は，抽象的な表現のものであり，具体的な内容については解説文の充実を図りたいと考えています。

● 憲章の実効性 14 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
歩行者優先に違和感。全て平等であるべき。	憲章とは「歩いて楽しいまち」を実現するための理念と行動規範を示したものです。
憲章策定の前に優先すべき課題がある。	持続的な交通とは歩くことを中心としたものであるという理念を述べたものです。
LRT の検討等の他施策との整合性に欠ける。	LRT 等の公共交通の利便性向上は歩く「ライフスタイル」を促す手段の一つとして検討しているものです。

● コミュニケーション 10 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
一人でも多くの人に歩行者優先憲章を周知する広報活動が必要である。	あらゆる機会を通して，多くの市民の皆さんに憲章の趣旨を理解していただくことが重要であると考えています。よって，できる限りの手段を尽くし，周知に努めて参ります。

● 景観 9 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
景観を阻害する電柱や電線などを無くし、歩いて楽しくなる歩行空間が必要である。	安全に快適に歩くことができる環境整備について検討していきます。

● 憲章の実効性 8 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
強制力を持たせることで実効性が担保出来るのではないかと。 また、行政のリーダーシップにより歩行者のための施策を推進すべき。	憲章の理念の実現のためには規制などの強制力を伴う施策についても検討しています。

● 歩道の休憩スペース・施設 4 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
子どもからお年よりまで安心して休める空間が欲しい。	歩く楽しさを引き出すための歩行空間の環境整備について検討していきます。

● 他施策との連携 3 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
ウォーキングや散策等防犯機能の強化と危機管理を推進すべき。	安全に快適に歩くことができる環境整備について検討していきます。

<個別施策について>

● LRT 導入に賛同 3 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
L R Tの導入に賛同	「歩くまち・京都」総合交通戦略において新しい公共交通システムについて検討していきます。

● 公共交通の優位性の確立 3 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
共通カードや観光地間を結ぶ直通バス等、公共交通の利便性向上が必要である。	「歩くまち・京都」総合交通戦略において鉄道・バスの連携施策を検討しています。

● パークアンドライド・流入規制策の必要性 3 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
他都市からの自動車流入抑制が必要である。	「歩くまち・京都」総合交通戦略において観光地対策としてパークアンドライドの通年実施を検討しています。

● 歩道拡幅に反対 2 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
京都の道路構造を勘案すると、歩道拡幅は困難ではないか。	公共交通の利便性向上と自動車の総量抑制策を併せて実施することで歩行者がのびのびと歩くことが出来る歩行者空間の実現に取り組みます。

● 違法駐車取締強化 2 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
歩行空間を確保するためにも違法駐車取締強化が必要である。	違法駐車への取締の強化と併せて駐車場対策に取り組みます。

● 情報提供・案内の改善 1 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
バス停での案内情報の改善が必要である。	「歩くまち・京都」総合交通戦略において効果的な情報提供による分かりやすさの向上に取り組みます。

③ 実践アイデア：327件

- ・ 10 km～40 km程なら自転車、2 km程度なら徒歩で。
- ・ 歩いて30分以内で行けるところは原則として歩くようにする。そして、まちを歩くときは少なくとも一つは新しい発見をするように興味を持って歩く。
- ・ まちに知り合いを多く作る。
- ・ 朝型のライフスタイルに移行していく。京都の四季を楽しむ。
- ・ 歩いて30分ほどで目的地にいける場所にはクルマを使わないことにする。
- ・ 通勤時や外出時にできる限り一駅手前で降り歩いて街並の変化を体感していきたい。
- ・ 京都に行くときは電車で、着いてからは徒歩で、碁盤の目を楽しみたいと思う。他

④ 一言メッセージ：185件

- ・ 歩いて京都再発見
- ・ 歩いて発見京都の魅力
- ・ まず歩いていこう！そして少し遠いなら自転車で！クルマは最後に使おうね！
- ・ 歩けばいつもと違う景色が見えますよ！
- ・ 京の街を歩いて楽しもう！
- ・ ほっこりできる空間・街並みを
- ・ 歩いて発見する喜び、京都がもっと好きになる。
- ・ クルマを利用する時こそ歩行者のことを考えます。
- ・ お互いに相手のことを考えて歩き、乗り、住みましょう。 他

⑤ 賛同者氏名記入：152件

2 「歩くまち・京都」総合交通戦略中間とりまとめへの意見募集結果

○ 意見の内訳

項目	大分類	小分類	件数
①公共交通の利便性	全般	趣旨に賛同	36
		地域性を考慮すべき	35
		子連れ・高齢者・障害者等への配慮が必要	35
		代替手段の充実	24
		費用・財源の懸念	19
		施策に疑問・懸念	8
		観光シーズン対策	7
		市民・観光客双方の視点	3
	公共交通	数値目標の設定	1
		公共交通の優位性の確立	51
		情報提供・案内の改善	42
		運賃体系の見直し	40
		乗り継ぎ利便性の向上	31
バス	交通事業者の連携	24	
	共通カード・乗車券	15	
	既存の公共交通の活用	13	
	駅の魅力向上	1	
	バス優先施策の実施	33	
		バス運行本数の充実	16
		バス路線の再編	14
		バス停改善等	5
計			453
②未来の公共交通まちづくり	全般	趣旨に賛同	34
		具体化を	20
		施策に疑問・懸念	9
		効率的な計画づくり	6
	歩行者	安全・快適な歩行空間の確保	35
		歩く楽しみ	13
		歩道の休憩スペース・施設	2
	自転車	自転車利用の促進	40
		駐輪対策 レンタサイクル	25 14
	公共交通	LRT導入に賛同	29
		LRT導入は疑問・困難 低公害車両の導入	17 7
	自動車	自動車利用の抑制・規制	68
		パークアンドライド 違法駐車取締強化	19 16
その他	タクシー	12	
計			366
③公共交通優先のライフスタイル	全般	趣旨に賛同	64
		コミュニケーション	43
		交通マナー	20
		施策に疑問・懸念	18
		他施策との連携	9
		具体的な施策	8
計			162
④その他	全般	世界に誇れる京都	6
		趣旨に賛同	5
	選択と集中	4	
	その他	7	
計			22
総計			1003

① 公共交通の利便性向上に関するご意見

＜全般にわたるご意見＞

● 趣旨に賛同 36 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
京都は歩いて生活し，歩いて観光するのが似合う。利便性を向上させ「歩いて楽しいまち」を目指す取組に賛同できる。出来ることから次々と取組んでほしい。	市民の皆様の賛同を活かすべく，スピード感を持って，推進すべきと考えます。

● 地域性を考慮すべき 35 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
都心部だけでなく，地域ごとに適切な施策・対策を取捨選択し，周辺の公共交通不便地域の利便性も確保すべき。	公共交通不便地域WG（仮）を設置して，具体的に検討すべき事項と考えます。

● 子連れ・高齢者・障害者等への配慮が必要 35 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
公共交通の利便性を向上させるだけでなく，子連れやお年寄り，障害をお持ちの方が安心して利用出来る環境整備が必要。	中間とりまとめ概要版7ページに記載しているとおり，バリアフリー化の推進により，誰にでも使いやすい公共交通の実現に向けて取り組むべきと考えます。

● 代替手段の充実 24 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
小型バス，コミュニティバス，BRTの導入を検討してはどうか。	中間とりまとめ概要版 10 ページに記載しているとおり，地域の特性に応じた適切な交通手段を検討すべきと考えます。
路面電車，トロリーバスを復活させて欲しい。	他都市での事例を踏まえ，新しい公共交通システムの導入に向けて検討すべきと考えます。

● 費用・財源の懸念 19 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
公共交通の利便性向上は重要であるが，財政的な負担が少ない手法を選択すべき。	限られた財源のもと，より価値の高い公共交通体系の充実により，増客による増収を目指して取り組むべきと考えます。
利用者負担（受益者）を軽くするための負担が別のところで生じることを明記すべき。	公共交通への転換による渋滞緩和等，総合的観点から取り組むべきと考えます。

● 施策に疑問・懸念 8 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
子育て世代等，公共交通の利便性向上のみで利用者が増加するか疑問である。	中間とりまとめ概要版 8 ページ～9 ページに記載しているとおり，誰にでも使いやすい公共交通の実現と併せて公共交通の優位性を市民の皆様にお伝えしながら過度なクルマ利用からの転換を推進すべきと考えます。

● 観光シーズン対策 7件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方(案)
観光シーズンのバスの混雑は目に余る。バスの増便等の対策が必要である。	バス、地下鉄の臨時増発等の対策を行っていますが、より効率的な輸送を目指し観光地における路線バスタールの整備や、鉄道・バスが一体として利用出来る効率的なルートを情報提供できる仕組み等に取り組むべきと考えます。

● 市民・観光客双方の視点 3件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方(案)
市民の視点と観光客の視点双方の両立が必要である。	中間とりまとめ概要版1ページに記載しているとおり、市民の皆様の利便性向上と年間5,000万人の観光客の皆様の利便性向上に向けて取り組むべきと考えます。

● 数値目標の設定 1件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方(案)
利便性をどの程度向上させるのか目標値を明確にすべき。	戦略の推進による目標水準は中間とりまとめ概要版2ページに記載していますが、公共交通の利便性向上についての分かりやすい目標値の設定について、個別施策ごとに検討すべきと考えます。

<公共交通に関するご意見>

● 公共交通の優位性の確立 51件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方(案)
利便性向上と併せて公共交通利用者へ運賃割引や特典付与等のインセンティブにより人々が利用したいと思える公共交通が必要である。	中間とりまとめ概要版7ページに記載しているとおり、交通事業者や商業者の皆様との連携を図りながら公共交通のメリットを高める方策について検討すべきと考えます。

● 情報提供・案内の改善 42件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方(案)
バスの運行経路や乗り継ぎ情報、駅構内の発車案内板の設置等、公共交通に関する情報をわかりやすくしてほしい。	中間とりまとめ概要版7ページに記載しているとおり、効果的な情報提供による分かりやすさの向上に取り組むべきと考えます。

● 運賃体系の見直し 40件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方(案)
公共交通運賃の値下げや定額化、乗り継ぎ運賃の見直しが必要である。	中間とりまとめ概要版7ページに記載しているとおり、鉄道・バスの連携により多様な料金施策の実現に取り組むべきと考えます。

● 乗り継ぎ利便性の向上 31 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
電車とバスの乗り継ぎにおける待ち時間や主要駅間の移動距離等の負担を少なくして欲しい。	中間とりまとめ概要版 7 ページに記載しているとおり、鉄道・バスの連携により乗り継ぎ利便性の向上にむけて取り組むべきと考えます。

● 交通事業者間の連携 24 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
交通全体の利便性の向上に向けて利用者の視点で交通事業者間が連携して取り組む必要がある。	中間とりまとめ概要版 7 ページに記載しているとおり、鉄道事業者間の連携により乗り継ぎ利便性の向上等を図るべきと考えます。

● 共通カード・乗車券 15 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
共通のカードで全てのバス・電車に乗れるようにして欲しい。	中間とりまとめ概要版 7 ページに記載しているとおり、先行実施プロジェクトとして京都市内共通乗車券（京都カード）を創設すべきと考えます。

● 既存の公共交通の活用 13 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
LRT等の新しい公共交通を整備するよりも、既存のバスや地下鉄を活用して利便性向上を図るべきである。	取組を推進する具体的施策として、既存のバスや鉄道の利便性向上策を掲げております。中間とりまとめ概要版 10 ページに記載しているとおり、地域性に応じて適切な交通手段を検討すべきと考えます。

● 駅の魅力向上 1 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
地下鉄の改札口周辺の魅力向上により集客力を高める。	公共交通の周辺施設の魅力向上策について検討すべきと考えます。

<バスに関するご意見>

● バス優先施策の実施 33 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
渋滞によるバスの遅延を解消し、円滑な走行空間を確保するための交通規制の実施や、バス優先・専用レーンを検討すべき。	中間とりまとめ概要版 6 ページに記載しているとおり、バス走行空間の改善に取り組むべきと考えます。

● バス運行本数の充実 16 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
バスの運行本数を増やして欲しい。バスの最終便をもっと遅い時間帯にして欲しい。	中間とりまとめ概要版 6 ページに記載しているとおり、交通事業者との連携によりバスダイヤ改善に取り組むべきと考えます。

● バス路線の再編 14 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
市民にも観光客にも使いやすいバス路線にして欲しい。	中間とりまとめ概要版 6 ページに記載しているとおり、路線再編や系統重複等の解消によるバス系統再編に取り組むべきと考えます。

● バス停の改善等 5 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
バス停の増設やバス停に屋根、ベンチ等の環境整備が必要である。	中間とりまとめ概要版 6 ページに記載しているとおり、バス停の周辺環境の改善に取り組むべきと考えます。

② 未来の公共交通まちづくりに関するご意見

<全般にわたるご意見>

● 趣旨に賛同 34 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方（案）
環境にやさしく，人にもやさしい公共交通まちづくりに賛同する。 京都のよさを実感できるような「まち」を実現して欲しい。	市民の皆様の賛同を活かすべく，地球環境への負荷を最低限に抑制し，京都の歩く魅力の向上により，「歩行者」を最優先とする交通体系を目指すべきと考えます。

● 具体化を 20 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
自動車を抑制し，歩行者を優先するための具体策が不明確である。 「歩くまち・京都」総合交通戦略の対象と目的，具体的目標を明確に示すべき。	中間とりまとめ概要版 4 ページと 10 ページに記載しているとおり，先行実施プロジェクトとしてトランジットモール化や歩道拡幅等に取り組むべきと考えます。

● 施策に疑問・懸念 9 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
歩道拡幅や L R T 導入による自動車渋滞の悪化が懸念される。	中間とりまとめ概要版 5 ページに記載しているとおり，公共交通の利便性向上施策や歩行者優先のまちづくり施策と合わせて，コミュニケーションを中心としたモビリティ・マネジメントの取組等を通じてクルマ中心のライフスタイルからの転換を促す取組を連携して実施することにより，それぞれの施策が相乗効果を創出するような施策展開を図るべきと考えます。
複数の施策を連携して実施しなければ実効性が弱いのではないか。	
経済活性化が優先されるべき。	歩行者と公共交通を中心とした安全で賑わいのあるまちづくりにより，人々の外出機会の増加や回遊性の向上，市街地の活性化などの経済効果が期待出来ます。

● 効率的な計画づくり 6 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
長期的視野に立ち無駄のない計画づくりを進めるべき。	将来の世代に渡って人々が安心して快適な暮らしを享受できるよう、長期的目標を掲げながら取り組むとともに、計画の継続的な推進体制を確立すべきと考えます。

<歩行者に関するご意見>

● 安全・快適な歩行空間の確保 35 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
歩行者の安全性を確保するための環境整備が必要である。	中間とりまとめ概要版 10 ページに記載しているとおり、歩行空間の拡大に向けて取り組むべきと考えます。

● 歩く楽しみ 13 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
緑化や地下道の環境整備など、安心・快適で歩いて楽しくなる道づくりを進めて欲しい。	歩く楽しさを引き出すための歩行空間の環境整備について検討すべきと考えます。

● 歩道の休憩スペース・施設 2 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
歩いて休める場所やトイレの増設が必要。歩いてときには立ち止まり人とふれあえる歩行者の為のまちづくりを進めて欲しい。	歩く楽しさを引き出すための歩行空間の環境整備について検討すべきと考えます。

<自転車に関するご意見>

● 自転車利用の促進 40 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
自転車走行環境の見直しが必要である。 自転車は環境や健康にやさしい移動手段であり、電車で自転車を持ち込めるようにするなど、「排除」ではなく、自転車に対する考え方に対する発想の転換を行って欲しい。	中間とりまとめ概要版 12 ページに記載しているとおり、自転車の安全な走行環境の充実と適切な利用方策について検討すべきと考えます。なお、自転車交通については、自転車の利用環境を整備し、自転車の適正な利用を進めるために別途策定する「京都市自転車総合計画～みんなでつくるひと・まち・自転車のいい関係～」に基づき、取組を進めることが望ましいと考えます。

● 駐輪対策 25 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
安くて利用しやすい駐輪場を整備し、違法駐輪は厳しく取り締まるべき。	中間とりまとめ概要版 12 ページに記載しているとおり、自転車の安全な走行環境の充実に向けて取り組むべきと考えます。 なお、自転車交通については、自転車の利用環境を整備し、自転車の適正な利用を進めるために別途策定する「京都市自転車総合計画～みんなでつくる ひと・まち・自転車のいい関係～」に基づき、取組を進めることが望ましいと考えます。

● レンタサイクル 14 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
レンタサイクル店の推進や、自転車を借りて何処でも乗り捨て出来るシステムを導入してはどうか。	中間とりまとめ概要版 12 ページに記載しているとおり、歩行者が集中する都心などでの自転車のシェアリングについて検討すべきと考えます。

<公共交通に関するご意見>

● LRT 導入に賛同 29 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
最適なルートを検討し、環境にやさしい LRT の導入を推進して欲しい。	中間とりまとめ概要版 10 ページに記載しているとおり、新しい公共交通システムの導入については、その有効性が発揮出来る地域において検討すべきと考えます。

● LRT 導入は疑問・困難 17 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
京都の道路幅員では LRT 導入は困難。過去の失敗を繰り返すだけである。	中間とりまとめ概要版 3 ページに記載しているとおり、新しい公共交通システムの導入については、自動車総量抑制に向けた周辺施策を併せて検討すべきと考えます。

● 低公害車両の活用 7 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
バスをハイブリッドタイプや電気自動車等の環境配慮型車両にすべき。	電気自動車の導入など環境負荷の小さなシステムを検討すべきと考えます。

<自動車に関するご意見>

● 自動車利用の抑制・規制 68 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
都心部や観光地への一般乗用車の乗り入れを規制すべき。	中間とりまとめ概要 4 ページに記載しているとおり、四条通でのトランジットモール化や、観光地交通対策を検討すべきと考えます。

四条通以外にもトランジットモールを導入してはどうか。	「人が主役の魅力あるまちづくり」を推進するために各関係者との連携により可能な範囲で段階的なトランジットモール化を検討すべきと考えます。
トランジットモールは市民の声を聞きながら進めるべき。	中間とりまとめ概要版 4 ページに記載しているとおり、市民の皆様、商業者の皆様のご意見を踏まえ、物流等生活に不可欠な自動車交通への影響を考慮し検討すべきと考えます。 また、歴史的都心地区における交通施策に関して地元との連絡調整及び協議を行うべきと考えます。
市内での自動車利用への課金を検討してはどうか。	中間とりまとめ概要版 11 ページに記載しているとおり、自動車総量抑制に向けたロードプライシングの導入可能性について検討すべきと考えます。

● パークアンドライド 19 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
パークアンドライド駐車場の増設と広報活動を推進すべき。	中間とりまとめ概要版 8, 9 ページに記載しているとおり、観光地対策としてのパークアンドライドの通年実施や、観光客へのパークアンド利用の呼びかけを推進すべきと考えます。

● 違法駐車取締強化 16 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
バス運行の妨げとなっている違法駐車を取り締まりを強化すべき。	警察と連携し、啓発活動に努めるべきと考えます。

<その他>

● タクシー 12 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方（案）
京都駅のタクシーの乗り入れを改善すべき。	中間とりまとめ概要版 11 ページに記載しているとおり、タクシーの問題を解決するため、タクシー業界への働きかけ、道路空間の再配分によるハード的な誘導施策、客待ちルールの制度化等の検討を行うべきと考えます。

③ 公共交通優先のライフスタイルに関するご意見

<全般に渡るご意見>

● 趣旨に賛同 64 件

ご意見の要旨	ご意見に対する考え方 (案)
公共交通優先のライフスタイルへの転換は環境のためにも重要であり賛同する。	市民の皆様の賛同を活かすべく、コミュニケーションを通じて歩くことを基本としたライフスタイルへの転換を呼びかけていきます。

● コミュニケーション 43 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
学校教育や家庭教育等の場で公共交通のメリットを周知し、公共交通を優先するライフスタイルを身に付けさせることが重要である。	中間とりまとめ概要版 8, 9 ページに記載しているとおり、コミュニケーションを中心としたモビリティ・マネジメント施策に取り組むべきと考えます。
呼びかけだけでなく、市民やマスコミの関心を引き付けて公共交通のあり方を問うていくべき。	中間とりまとめ概要版 9 ページに記載しているとおり、地域情報紙やラジオ等を活用した啓発活動に取り組むべきと考えます。
バスに関する情報を様々な方法で情報配信すると同時に、バス停のイメージ向上やバス内部に添乗員を乗せるなどの取組により、バスのブランド化を進めてはどうか。	中間とりまとめ概要版 7 ページに記載しているとおり、公共交通を利用したくなるような「カッコいい」「おもしろい」という視点を持ったバス停整備が必要と考えます。

● 交通マナー 20 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
自動車、バイク、自転車の運転マナーを徹底すべき。	安全で快適な道路空間の確保のためにマナー啓発活動に取り組むべきと考えます。

● 施策に疑問・懸念 18 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
理念は理解できる。実効性を高めていく必要がある。	中間とりまとめ概要版 5 ページに記載しているとおり、理念の啓発に努めるとともに、公共交通利便性向上施策、まちづくり施策と一体となって推進していくための体制を整備すべきと考えます。

● 他施策との連携 9 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
レンタカーやカーシェアリングの普及を進めるべき。	中間とりまとめ概要版 8, 9 ページに記載しているとおり、カーシェアリングの促進などパーソナルモビリティのあり方について検討すべきと考えます。

● 具体的な施策 8 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
ライフスタイルの転換のための具体策が重要である。	中間とりまとめ概要版 8, 9 ページに記載しているとおり、対象に応じたコミュニケーション施策に取り組むべきと考えます。

④ その他

<全般にわたるご意見>

● 他都市の範となるよう 6 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
世界一利用しやすい公共交通を目指して世界に誇れる京都にして欲しい。	中間とりまとめ概要版 1 ページに記載しているとおり,世界の同規模の大都市の中で最高水準である非自動車分担率の実現に向けて取り組むべきと考えます。

● 趣旨に賛同 5 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
歩くまち京都総合交通戦略を京都市の重要プロジェクトとして位置づけ,歩くことの意味を市民が再認識できるようになればよい。	戦略に掲げた取組については,京都市が全庁体制により実現に向けて強力で推進すべきと考えます。

● 選択と集中 4 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
方向性は理解できるが集中して取り組む施策を打ち出すべきである。	先行実施プロジェクトの推進に向け,スピード感を持って取り組むべきと考えます。実現可能な施策から実行に移すための協力体制を構築すべきと考えます。

● その他 7 件

ご意見の概要	ご意見に対する考え方 (案)
路上喫煙,浮浪者対策を推進すべき。	「歩いて楽しいまち」に相応しい環境整備に向けて必要な周辺施策と考えます。